

認定管理栄養士並びに認定栄養士の認定にかかる審査の実施要綱

I 認定管理栄養士並びに認定栄養士制度の趣旨

公益社団法人日本栄養士会（以下「本会」という。）は、生涯教育の仕組みの中に、同教育の所定の課程を修了した者の申請に基づき、その専門的な知識・技能や専門職としての責務等の職業倫理の修得の程度を審査し、必要かつ十分な実務的水準に達していると判定された者に、「認定管理栄養士」または「認定栄養士」の称号を与えて、これを公示する制度、すなわち、認定管理栄養士並びに認定栄養士制度（以下「本制度」という。）を設ける。

本制度の最終的な目的は、生涯教育のそれと同じである。本会は、人びとの「食の営みによる喜びの中、自己実現を求め、健やかによりよく共に生きる。」との願いに適切に応えることのできる管理栄養士および栄養士を育成するために生涯教育の機構を設営している。その基盤にあるのは、生涯にわたり自らの専門的な知識・技能を向上させ、職業倫理をより深く身につけていくことは、管理栄養士および栄養士の専門職としての最も基本的な義務であるとの考え方である。

本会は、管理栄養士および栄養士の一人ひとりが、その義務の実践として、生涯にわたり学びを積み重ねていくことを支え、その努力が必要な質を伴って豊かに実を結ぶよう、生涯教育の制度整備を推し進めてきた。その一環として導入された本制度は、生涯教育を経て優れた到達段階にあることを本会において認定した管理栄養士および栄養士が広く国民の多様な需要に高い質で応えていく状況を生み出すことを目的とするものである。

第8回（2023年度）認定管理栄養士・認定栄養士の認定にかかる審査の実施要項

1. 認定にかかる審査の手続きについて

目的

この要項は、認定管理栄養士並びに認定栄養士の制度に関する規則に定める認定を行うため、2023年度における手続きについて定める。

なお、今後、運用については順次改訂をしていくこととする。

2. 認定の流れ

認定管理栄養士・認定栄養士の認定にかかる審査は、①申請書類の確認：資格審査（書類審査）、②一次審査（オンライン試験）、③二次審査（事例報告の考査）により可否を判定します。

日程	申請者	都道府県栄養士会	日本栄養士会	頁
2023年 1月	・「認定にかかる審査の実施要項」の確認、申請準備		・「認定にかかる審査の実施要項」の掲載（日本栄養士会雑誌、日本栄養士会HP）	1
2023年 4月10日(月)～ 4月24日(月)	・審査に必要な書類の提出 ・審査料の振込 ※オンライン	・申請者リストの受理	・申請書類の確認：資格審査（書類審査） ・審査料振込の確認	3
7月中旬予定	・資格審査（書類審査）の結果受理 ・受験票の受領	・資格審査（書類審査）結果 ・リストの受理	・キーワード集の掲載（日本栄養士会HP） ・受験票の発行・送付	9
8月27日(日)	一次審査（オンライン試験）			10
9月下旬予定	・一次審査可否の結果受理	・一次審査可否結果受理	・一次審査可否判定（郵送）	10
10月～12月			二次審査（事例報告の考査）	11
2024年 1月下旬予定	・二次審査可否の結果受理	・二次審査可否の結果受理	・二次審査可否判定（郵送）	11
2月下旬	・認定登録手続き（認定料の振込）	・認定管理栄養士・認定栄養士の認定者リストの受理	・認定料振込確認 ・認定管理栄養士・認定栄養士の認定、名簿への登録	12
4月1日	・認定証の受理		・認定証の交付	12
6月予定	・第8回認定管理栄養士・認定栄養士の公表			12
2028年	資格の更新		更新審査	-
→ その後、5年ごとに更新				

3. 審査のための申請資格

認定管理栄養士・認定栄養士の審査を申請する者は、2023年3月末日時点において、次の各項に定める資格をすべて満たしていることが必要です。

※審査申請資格を有していることが確認できない場合、申請を受け付けることはできません。

- ① 日本国の管理栄養士・栄養士の免許を有していること。
- ② 管理栄養士・栄養士としての実務経験が積算5年以上であること。
- ③ 基幹教育において2017年度から2022年度の間、60単位以上の単位を取得していること。
基本研修で30単位（うち必須単位20単位）、実務研修で30単位（臨床栄養分野は40単位）以上の単位を取得していること。
※単位付与を認めた他団体での研修会参加は、実務研修単位に含め、15単位（臨床栄養分野は20単位）を上限とします。
※認定申請する分野において5年以上の実務経験のある者は、実務研修の単位として自己研鑽単位の振替が可能です。詳細はp4をご確認ください。
- ④ 受講した研修や日々の業務より、年に1テーマ以上のキャリアシートを作成していること。
※キャリアシートの作成は、2014（平成26）年度から受講された研修等が対象となります。
※2022年度にキャリアシートの様式を変更しています。2022年度前に作成の旧様式のキャリアシートは、これまでと同様に年5テーマ以上の作成が必要です。
- ⑤ 申請する分野の「栄養の指導」に関する学会等（地方会、研究会も含む）での発表を1回以上、かつ学会に3回以上参加していること。

4. 審査のための申請書類（オンライン申請）

<審査に必要な申請書類一覧>

日本栄養士会にて審査資格の有無を判定します。

※ 申請画面を確認の上、以下の書類をアップロードしてください。

必要提出物	頁
(1) 管理栄養士または栄養士免許証の写し	—
(2) 認定を申請する分野の生涯教育到達目標シート	14
(3) キャリアシート	15, 16
(4) 基幹教育（60 単位以上、臨床栄養分野は 70 単位）単位取得の記録 ※申請する同分野において 5 年以上の実務経験のある方は基幹教育及び自己研鑽における（60 単位以上、臨床栄養分野は 70 単位）単位取得の記録も可	17, 18
(5) 認定を申請する分野の「栄養の指導」に関するテーマの事例報告（各分野指定の数） ※ <u>認定栄養士</u> として申請する方は事例報告の提出は必要ありません。	19
(6) 認定を申請する分野の「栄養の指導」に関する学会発表の記録(抄録・講演要旨の写し)	—
(7) 参加した学会の参加証の写し	—

(1) 管理栄養士または栄養士免許証の写し

認定を希望する（審査申請書の資格区分）免許証の写しを提出すること。

なお、管理栄養士の資格を有する者は認定管理栄養士とし、栄養士の資格のみを有する者は、認定栄養士とする。

(2) 認定を申請する分野の自己評価表

認定を申請する分野の「生涯教育到達目標」シートを出力し、チェック（マーカーで色づけ、もしくは黒以外のペンで丸をつける。）し、概ね「Ⅲ」であることを各自で確認し、そのシートを提出すること。

(3) キャリアシート

2014（平成 26）年度以降の記録として、合計 5 枚以上提出すること。（1 年に 1 テーマを目安）

※2022 年度にキャリアシートの様式を変更しています。2022 年度以降は、新様式にて 1 年に 1 テーマ以上として提出してください。2022 年度前に作成の旧様式のキャリアシートを含む場合は、1 年に 5 テーマ以上を目安に必要枚数を提出してください。

<提出例>

- ・ 2018 年度～2021 年度の記録として旧様式で 20 枚提出と 2022 年度新様式で 1 枚
- ・ 旧様式で 25 枚提出

(4) 基幹教育 (60 単位以上、臨床栄養分野は 70 単位) 単位取得の記録

2017 年度から 2022 年度の間として、以下の A①、A②がわかるものを提出すること。

なお、認定を申請する同分野において 5 年以上の実務経験のある方は B①、B②がわかるものの提出を認めます。

A①：基本研修項目で「必須」と定められている研修 20 単位を含め、基本研修で取得した単位の合計が 30 単位以上

A②：実務研修で取得した単位の合計が 30 単位以上 (臨床栄養分野は 40 単位以上)

※単位付与を認めた他団体での研修会参加は、実務研修単位に含め、15 単位 (臨床栄養分野は 20 単位) を上限とします。

B①：基本研修及び実務研修で取得した単位の合計が 30 単位以上 (臨床栄養分野は 40 単位以上)

※単位付与を認めた他団体での研修会参加は、実務研修単位に含め、15 単位 (臨床栄養分野は 20 単位) を上限とします。

B②：自己研鑽による単位 20 単位以上 (うち、学会参加 3 回以上、臨床栄養分野は 5 回以上)

< 自己研鑽による単位の換算方法 >

内 容	単 位
学会参加 (参加証の写し) (地方会、研究会、各都道府県の栄養改善学会等も該当)	2 単位
学会・研究会での発表 (抄録の写し) (ポスター発表・全国栄養士大会での示説発表も該当)	発表者 10 単位 連名 2 単位
講演会・研修会の講師 (プログラム・委嘱状のコピー)	1 講演 5 単位
大学での非常勤講師 (本務者は除く) (シラバスのコピー)	1 科目 5 単位
シンポジスト・パネリスト・座長	5 単位
学術論文 ※査読付き (コピーの提出)	筆頭 30 単位 共著 5 単位
実践報告 ※査読付き (コピーの提出)	筆頭 15 単位 共著 2 単位
機関誌、本、雑誌等 (コピーの提出)	↓以下に分類
雑誌 (コピーの提出)	筆頭 10 単位 共著 2 単位
著書 (コピーの提出) (「章」を単独で担当している場合も該当)	筆頭 20 単位

※日本栄養士会会員は、生涯教育単位は、日本栄養士会ホームページの「マイページ」より確認ができます。該当ページをPDF出力して提出してください。

※取得単位数が上記に満たない場合、2023年取得見込み（12月末まで）として申請が可能です。その場合は、申請書類とあわせて「2023年生涯教育研修会受講計画」を作成し、提出してください。

<日本栄養士会ホームページ「マイページ」からの基幹教育取得単位記録のPDF出力の方法>

a. 日本栄養士会ホームページよりログインします。



b. マイページの「研修会・生涯教育単位管理」から「基本研修単位の確認」「実務研修単位の確認」をそれぞれクリックすると、各取得単位が表示されます。



c. 取得単位が、申請に必要な単位以上あることを確認します。

また、基本研修は、必須単位数が 20 単位あることを確認し、右上にある「このページを印刷する」より PDF で出力（ダウンロード）します。

Home > マイページ > 基本研修単位

基本研修単位 10000000

注意！
2013～2016 年度も含まれています

このページを印刷する

2013年度～2022年度単位取得分の合計

取得単位数	35.0
うち必須単位数(重複を除く)	25.0

単位取得履歴

大項目	中項目	必須	形式	必須単位 講義 演習 等	取得単位数(年度)								
					2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	
1.専門職としての役割と倫理要綱	1-1.専門職としての役割と倫理要綱	必須	講義	1.0						1.0			
2.食と栄養に関する基礎知識	2-1.国民の健康の増進の総合的な推進	必須	講義	1.0	1.0	1.0					1.0		
	2-2.栄養の指導	必須	講義	1.0			1.0						

大項目	中項目	必須	形式	必須単位 講義 演習 等	取得単位数(年度)							
					2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015
小計					5.0	8.0	3.0	3.0	9.0	5.0	1.0	1.0

2017 年度～2022 年度の取得単位数を確認
必須単位数は要確認！

d. 実務研修単位は、申請する分野を選び、取得単位数が、必要単位以上となっていることを確認し、右上にある「このページを印刷する」より PDF 出力（ダウンロード）します。

Home > マイページ > 実務研修単位

実務研修単位

申請する分野になっていることを確認

このページを印刷する

2013年度～2022年度単位取得分の合計

R:臨床栄養

取得単位数	45.0
-------	------

注意！
2013～2016 年度も含まれています

単位取得履歴

科目	項目	形式	取得単位数(年度)							
			2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015
小計			5.0	8.0	6.0	11.0	8.0	4.0	2.0	1.0

2017 年度～2022 年度の取得単位数を確認

(5) 認定を申請する分野の「栄養の指導」に関するテーマの事例報告（認定管理栄養士申請者のみ）申請する分野に必要な事例数を提出すること。

※なお、個別の事例報告に際しては、所属長あるいは対象者の許可を得てください。

【3事例提出する分野】

「臨床栄養」「健康・スポーツ栄養」「地域栄養」

【2事例提出する分野】

「学校栄養」「給食管理」「公衆栄養」「福祉栄養（高齢・障がい）」「福祉栄養（児童）」

※「認定栄養士」として申請をする方は事例報告の提出は必要ありません。管理栄養士免許取得後に「栄養の指導」に関する事例報告・レポートを提出し、審査に合格することで「認定管理栄養士」として認定します。

(6) 認定を申請する分野の「栄養の指導」に関する学会発表の記録（抄録・講演要旨の写し）

※必ず公に配布（作成）された抄録集（要旨集）の写しを提出してください。個人が提出用に保存している内容の提出は記録として認めません。

※学会発表の記録はさかのぼり、過去10年の実績まで可能です。

(7) 参加した学会の参加証の写し

5. 審査申請書類の提出

(1) 受付期間

2023年4月10日（月）～4月24日（月）

※受付期間内に申請を完了してください。

※受付期限の過ぎた審査申請書類は受け付けられません。

※審査申請書類に不備がある場合は、審査は受けられません。

(2) 提出方法

日本栄養士会ホームページの「マイページ」よりオンラインによる提出

<日本栄養士会ホームページ「マイページ」からの提出方法>

a. 日本栄養士会ホームページよりログインします。



b. マイページの「日本栄養士会認定資格」から「認定・更新の申請」をクリックすると、資格申請ページへ移動します。



6. 審査料の振込

審査料の振込期限：2023年4月24日（月）12：00まで（期限厳守）

※期限までに審査料の振り込みが確認できない場合、審査は受けられません。

（1）審査料：22,000円（税込）

なお、（公社）日本栄養士会の会員以外の方は 55,000円（税込）となります。

（2）振込方法

オンライン決済

（3）注意事項

- ・振込手数料は申請者の負担となります。
- ・万が一、提出書類の不備等により、審査が受けられなくなった場合には、既納の審査料は事務手数料を差引かせていただいた上で、返金（振込手数料は申請者負担）します。ただし、手続きに数か月かかることをご了承ください。
- ・審査料を振込後、自己都合により審査を辞退した場合は、既納の審査料は返還しません。

7. 資格審査（書類審査）結果の通知について

資格審査（書類審査）結果の通知：2023年7月中旬

※提出していただいた書類を審査した後、「資格あり」と判定された場合は7月中旬を目途に申請者へ日本栄養士会事務局より一次審査（オンライン試験）の「受験票」を郵送します。一次審査（オンライン試験）の際の身分証明書となりますので、当日必ずお手元にご用意ください。

8. 一次審査（オンライン試験）

(1) 日時：2023年8月27日（日） 13:00~14:00（受付12:00~）予定

(2) 形式

オンライン

※全体の申請者数により、試験時間を調整します。試験の詳細は、受験票発送時に申請者本人へご連絡します。

(3) 試験内容

四肢択一 60分

基本研修：20問

認定分野：30問 計50問

(4) 出題について

出題範囲は、管理栄養士・栄養士のミニマムスタンダードを問う基本問題と、各分野の到達目標について単独で実践できるレベル（Ⅲ）相当の知識や技術を評価する問題となります。

※各認定分野におけるキーワード集を、日本栄養士会ホームページに掲載しておりますので参考にしてください。

(5) 当日に必要な機器類及び書類

- ・受験票
- ・Webカメラとマイクの環境が整った、ノートPCまたはデスクトップPC
- ・イヤホン、ヘッドホンまたはヘッドセット
- ・インターネット環境

※その他、詳細は、受験票発送時に申請者本人へご連絡します。

(6) 注意事項

- ・受験票の記載内容に間違いがある場合には、速やかに日本栄養士会まで連絡してください。
- ・受験の遅刻は、原則、認めません。

(7) 合否結果の通知について

一次審査（オンライン試験）の合否結果は、ご本人へ9月下旬頃郵送にて通知します。一次審査合格者は、提出済の事例報告の考査に入ります（二次審査）。

なお、一次審査不合格者は、審査は不合格となります。次年度以降、同様の流れで新たに認定審査申請の手続きを行ってください。

9. 二次審査（事例報告の考査）

（1）審査方法について

申請時に提出された事例報告（各分野指定枚数）を、12月末までに事例考査委員が審査します。

（2）審査結果の通知について

審査結果は、2024年1月末まで（予定）にご本人に通知します。なお、二次審査合格者には、同時に認定登録の案内をします。

（3）再審査について

二次審査（事例報告の考査）不合格者は、翌年1回のみ一次審査（オンライン試験）が免除され、事例報告の再審査を受けることができます。二次審査結果通知時に同封される審査内容を確認し、所定の期限までに日本栄養士会へ事例報告を提出してください。再審査の受付については、結果通知時に案内します。

再審査料：11,000円（税込）

なお、（公社）日本栄養士会の会員以外の方は 27,500円（税込）となります。

10. 認定登録、認定証の交付

(1) 認定登録の手続きについて

審査結果に同封される案内に従い、手続きを行ってください。

認定料の振込期限：2024年2月末日（予定）

※認定料の振込期限は、審査の状況により変更となる可能性があります。詳細は、審査結果に同封される案内をご確認ください。

(2) 認定料：22,000円（税込）

なお、（公社）日本栄養士会の会員以外の方は 55,000円（税込）となります。
認定料の振り込みをもって、認定登録の手続きが完了となります。

(3) 振込方法

詳細は、審査結果に同封される案内をご確認ください。

(4) 注意事項

- ・既納の認定料はいかなる理由があっても返還いたしません。
- ・払込手数料は申請者が負担してください。

(5) 認定証の交付

認定料の振り込み確認後、認定証を交付します。

(6) 認定者名簿の公表

認定者は、日本栄養士会雑誌および日本栄養士会ホームページに掲載します。

11. その他申請に関する事項

(1) 審査に関する情報開示

試験問題およびその解答、認定にかかる審査委員等については、一切公表しません。また、個人の試験得点の開示も行いません。

(2) 個人情報保護方針

「公益社団法人日本栄養士会 個人情報の保護に関する基本方針」に準じます。

(3) 問合せ先

審査・申請等に関するお問い合わせは下記のEメールにて受け付けます。

公益社団法人 日本栄養士会 生涯教育担当 shougai-kyouiku@dietitian.or.jp

※なお、緊急を要する場合には、電話で下記までお問い合わせください。

電話番号 日本栄養士会事務局（生涯教育担当）03-5425-6555

受付時間 月曜日～金曜日（祝日を除く）10：00～12：00／13：00～17：00

キャリアシート（新様式：2022年度～）

会員番号	氏名	職域	経験年数	年
現在の自分（今どんな業務をしているか？どのくらいのレベルか？）				
将来（理想）の自分（なりたい姿、こんな管理栄養士・栄養士になりたい）キャリアプラン参考				
1年後：				
2年後：				
3年後：				
今年度の目標・達成すべきゴール （理想の自分と現在の自分のギャップが課題であり、解消する手段が目標となる）				
取得したい分野の到達目標から選択				
1.				
2.				
3.				
目標達成のための具体的な研修計画と達成状況				
1. 研修名		受講日：	年	月 日
2. 研修名		受講日：	年	月 日
3. 研修名		受講日：	年	月 日
4. 研修名		受講日：	年	月 日
5. 研修名		受講日：	年	月 日

今年度の振り返り

記入日 年 月 日

目標達成状況	
研修で学んだこと	
実践の場で役に立ったこと・効果があったこと	
最も頑張ったこと	
目標達成できなかったこと・来年度の課題	

*日本栄養士会ホームページからダウンロードできます。また、この様式を参考に、各自で作成することもできます。ただし、指定の項目は全て入れてください。

キャリアシート（旧様式）

会員番号	氏名	職域	経験年数	年
計画（テーマ）				
研修会名		研修会主催者		
受講形式と時間			単位	単位
研修会内容 （講師、研修形式など）				
研修（研鑽）の目的 （何を学びたいのか）				
研修で学んだこと				
実践で活用できる内容				

実践の記録（OJT : on the job training）

実践の場で効果があったこと	
実践事例	
これをふまえ、さらに学習すべき項目	
学習目標をすべて達成できなかった理由	

*日本栄養士会ホームページからダウンロードできます。また、この様式を参考に、各自で作成することもできます。ただし、指定の項目は全て入れてください。

基幹教育の単位取得の記録（例）

< 基本研修 >

公益社団法人 日本栄養士会

Page 1 of 1

基本研修単位 10000000： 子
2013年度～2022年度単位取得分の合計

取得単位数	35.0
うち必須単位数(重複を除く)	25.0

単位取得履歴

大項目	中項目	必須	形式	取得単位数(年度)							
				2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	
1. 専門職としての役割と倫理規範	1-1. 専門職としての役割と倫理規範	必須	講義			1.0					
2. 食と栄養に関する基礎知識	2-1. 国民の健康の増進の総合的な推進	必須	講義				1.0				
	2-2. 栄養の指導	必須	講義		1.0	1.0					
	2-3. 根拠に基づいた栄養管理	必須	講義	3.0							
	2-4. 栄養（食物）と医薬品の影響		講義				1.0				
	2-5. 栄養素の消化と吸収（代謝）	必須	講義		1.0	1.0					
	2-6. 保健機能食品と栄養成分表示制度		講義	1.0							
3. 食事管理プロセス	3-1. 対象者の把握		講義		1.0						
	3-2. 栄養食事基準		演習			1.0					
	3-3. 食品構成		講義								
	3-4. 献立計画		講義	1.0				1.0			
	3-5. 栄養献立（調理・盛付・配膳・食材料管理）		講義								
	3-6. 献立評価・食事管理の改善		講義		1.0			1.0			
	3-7. 衛生管理		講義								
	3-8. 感染対策		講義		1.0			1.0			
4. 栄養ケアプロセス	4-1. 栄養ケアプロセス	必須	講義			1.0					
	4-2. 栄養スクリーニング		講義	1.0		3.0	1.0	1.0			
	4-3. 栄養アセスメント	必須	演習	1.0		1.0			1.0		
	4-4. 栄養診断		講義								
	4-5. 栄養診断にもとづく管理計画（栄養介入）		講義								
	4-6. 個人を対象とした栄養指導（栄養介入）		講義								
	4-7. 集団を対象とした栄養指導（栄養介入）		講義								
	4-8. 栄養指導時に必要な献立と調理（栄養介入）		講義								
	4-9. 栄養管理のモニタリング・再評価	必須	講義	1.0							
	4-10. 栄養管理記録	必須	演習		1.0		1.0				
	4-11. チーム（多職種）による栄養管理	必須	講義			1.0		1.0			
	4-12. 地域連携	必須	講義		1.0						
5. リスクマネジメント	5-1. 栄養管理のリスクマネジメント		講義								
	5-2. 給食管理のリスクマネジメント		演習								
	5-3. 食物アレルギー		講義								
6. 非常時の緊急体制	6-1. 非常時の食事提供		講義								
7. 調査研究	7-1. 研究方法・研究発表		講義						1.0		
			演習								
8. 関連法規	8-1. 栄養関連法規		講義				1.0				
	8-2. ライフステージと栄養関連法規		講義								
	8-3. その他		講義								
9. その他	9-1. その他		講義								
			演習								
大項目	中項目	必須	形式	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	
	小計			8.0	6.0	10.0	7.0	4.0			

基幹教育の単位取得の記録（例）

<実務研修>

公益社団法人 日本栄養士会				Page 1 of 1						
実務研修単位 10000000 :				子						
2013年度～2022年度単位取得分の合計										
R:臨床栄養										
取得単位数				45.0						
単位取得履歴				取得単位数（年度）						
科目	項目	形式	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	
病態栄養	23 102	講義		1.0			3.0			
	23 104	講義		1.0		3.0				
	23 107	講義		3.0			4.0			
	23 200	演習		2.0						
	23 109	講義		1.0						
疾患・病下補給	23 118	演習		1.0	1.0					
	23 218	演習			1.0					
認知症	23 119	講義			1.0					
COPDとサルコペニア	23 121	講義			3.0					
医療連携	412 101	演習		3.0	3.0					
栄養評価法	45 107	講義		10.0	2.0					
食生活科	90 110	講義		5.0		4.0	11.0			
その他	90 111	講義					1.0			
医療安全管理	50 101	講義			1.0					
科目	項目	形式	取得単位数（年度）							
	小計		0.0	27.0	12.0	7.0	20.0	9.0	0.0	

申請する分野の事例報告（例）

作成日 年 月 日

栄養管理事例報告（〇〇〇〇分野）

所属栄養士会：	都・道・府・県	事例番号：
会 員 番 号：	事例報告：新規提出・再提出・	
勤務施設名：	症例介入：主担当者・副担当者・	
提出者氏名：	介入期間： 年 月 日～ 年 月 日	

<対象者（患者）情報>

<介入に至るまでの経過（栄養管理開始までの経過）>

<栄養スクリーニングの状況（多職種からの紹介状況も含める）>

	Mx)
P	Rx)
	Ex)

S : Subjective data (主観的データ)、O : Objective data (客観的データ)、A : Assessment (評価)、P : Plan (計画)
 Mx : Monitoring plan (モニタリング計画)、Rx : therapeutic plan (栄養治療計画)、Ex : educational plan (栄養教育計画)

人を基本とする)